

## 町田市立国際版画美術館 ベスト・セレクション展



開催日 10月31日(土)～11月23日(月祝)

場所 町田市立国際版画美術館

3月から実施されていた大規模改修工事後、初めての企画展。デューラー『小受難伝』や歌川広重『東海道五十三次』、棟方志功『二菩薩釈迦十大弟子』など国際版画美術館のコレクションを代表する古今東西の名作約180点が展示される。版画の歴史を窺い知ることができる見応えのある展覧会。一般600円。10時～17時(土・日・祝は10時～17時30分)/月曜休

☎042-726-2771

## 成瀬にFリーグ全チームが集結 “町田セントラル”初開催



開催日 12月19日(土)・20日(日)

場所 町田市立総合体育館

Fリーグ所属の全12チームが一同に集う「セントラル」が、シーズン最終節の33節、町田で初開催される。町田をホームとするベスカドーラは10月末日現在2位で、20日、14時30分よりパサジィ大分と対戦。自由席(前売り)一般2,000円・小中高500円。19日14時～・20日12時半～。なお、Fリーグ上位5チームが進出するプレーオフも2016年1月5日・6日に町田で開催される。

☎総合体育館 042-724-3440

## 小山内裏公園 第14回「どんど焼き」



開催日 2016年1月上旬

場所 都立小山内裏公園 里山広場

1年の無病息災を願う「どんど焼き」が、1月上旬に開催される。伝統手法で作られた8mの竹のやぐらで、正月飾りや門松・書初めなどを焼き上げ、炎は20mにまで達する。残り火にかざして食べる繭玉団子の引換券販売、豚汁・小豆粥・甘酒販売や地元連のひょっとこ踊り・獅子舞・歌の演奏も楽しめる(昨年実績)。

荒天中止/参加無料

☎小山内裏公園 042-676-8865

## おたり村から 雪遊びのプレゼント



開催日 2016年1月17日(日)

場所 ぼっぼ町田 屋外広場

町田市観光コンベンション協会と観光交流協定を結ぶ長野県白馬山麓小谷村から、今回もたくさんの雪が届く。このプレゼントは6回目を迎え、街中に突如現れる1日限りの雪遊びスポットに、毎年大勢の親子が訪れる。冷たい雪に触れたり、雪だるまを作ったり、また雪ん子衣装の体験なども楽しめる。小谷村の特産品販売も実施。参加無料。10時30分～15時

☎町田ツーリストギャラリー 042-850-9311

## バドミントン日本リーグ 2015～町田大会～



開催日 2016年1月23日(土)

場所 町田市立総合体育館

バドミントンの国内最高峰・日本リーグが町田で初開催される。男子は昨年優勝のNTT東日本vs日本ユニシス、女子はダブルス世界ランキング1位の松友・高橋ペアを擁する日本ユニシスvs広島ガス。オリンピック陣内貴美子さん、小椋久美子さんらのトークショーも実施。チケットは総合体育館、チケットぴあ等で販売。市内の小中学生無料招待も有り(先着200名)。

☎総合体育館 042-724-3440

## 平成二十八年度 春 相撲地方巡業 大相撲町田場所



開催日 2016年4月14日(休)

場所 町田市立総合体育館

町田市で80年振りとなる大相撲が開催される。前回開催は「2・26事件」当日の昭和11年2月26日。町田市出身の北太樹関や横綱の白鵬関、遠藤関ほか十両以上の現役力士約270名がトーナメント方式で力と技を競うほか、「髪結い実演」も実施される。チケットはショップパー 042-725-5997(10時～17時)またはショップパーチケットコーナー <http://www.shopper.jp/c>(24時間受付)へ。

☎大相撲町田場所事務局 042-728-6413

## まちびと写真館

其の貳

小野路宿通り 1910年頃



見つけた人 松崎稔さん

(自由民権資料館)

現在の里山交流館の地で旅館「角屋」を営んでいた

小野路村の名主 細野家は、大正から昭和期には製糸業を営み

地域経済に大きな影響を与えていた



細野利平家(町田市立自由民権資料館保管)

百年の時を超えて甦った  
ガラス乾板のフォトグラフ

細野家の土蔵から発見され、今年1月、市の文化財に指定されたガラス乾板。フィルムがなかった幕末から昭和初期に使われていたガラス乾板(薄い板ガラス)は、一般人には手の届かないものだった。小野路の風景や人々の様子と一緒に映し出されていた「小野路宿通り」は、今日も土堀と堀割が昔の面影を偲ばせている。

鎌倉時代には幕府と武蔵国府である府中を結ぶ要衝地として、江戸時代には東海道から甲州街道への脇住環として栄えてきた。1617年、徳川家康の遺骸を静岡の久能山から日光に移す千人行列の際、輿の車軸が壊れたが、村民たちが乞田村の鍛冶屋を呼び、事なきを得たことで、その後の助郷が永久に免除されたというエピソードもある。

江戸中期以降は大山詣でで賑わいを見せ、六軒の旅籠もあった。新選組の近藤勇や土方歳三らが小島家や橋本家へ出稽古に通ったことでも有名だ。江戸後期になると近隣35か村をまとめる組合村の寄場として見張番屋が置かれ、明治時代には登記所や郵便局も出来、小野路は地域行政の中心的な役割も果たしてきた。